

第2グループの各医療機関への派遣目安数算定に係る評価項目等(案)

大項目	中項目	考え方	評価方法(スコア)	配点	100点換算
医療機関の医師不足の状況	1 医師1人当たりの外来患者数(日勤帯) 令和6年度実績	医師の不足状況や業務負担を把握するため	5:1日当たり20人以上、4:17人以上、3:14人以上、2:11人以上、1:8人以上、0:8人未満	5	50
	2 医師1人当たりの外来患者数(休日・夜間・時間外) 令和6年度実績	医師の不足状況や業務負担を把握するため	10:当該年度に300人以上、9:270人以上、8:240人以上、7:210人以上、6:180人以上、5:150人以上、4:120人以上、3:90人以上、2:60人以上、1:30人以上、0:30人未満	10	
	3 常勤医1人当たりの入院患者数 令和6年度実績	医師の不足状況や業務負担を把握するため	10:1日当たり10人以上、9:9人以上、8:8人以上、7:7人以上、6:6人以上、5:5人以上、4:4人以上、3:3人以上、2:2人以上、1:1人以上、0:1人未満	10	
	4 常勤医1人当たりの宿直の回数 令和6年度実績	医師の不足状況や業務負担を把握するため	8:月平均8日以上、7:7日以上、6:6日以上、5:5日以上、4:4日以上、3:3日以上、2:2日以上、1:1日以上、0:1日未満	8	
	5 医師1人当たりの救急車の受入台数 令和6年度実績	医師の不足状況や業務負担を把握するため	15:当該年度に75台以上、14:70台以上、13:65台以上、12:60台以上、11:55台以上、10:50台以上、9:45台以上、8:40台以上、7:35台以上、6:30台以上、5:25台以上、4:20台以上、3:15台以上、2:10台以上、1:5台以上、0:5台未満	15	
	6 訪問診療を担当する医師1人当たりの在宅患者訪問診療料()の点数 令和6年度実績	医師の不足状況や業務負担を把握するため	5:医師1人当たり100,000点以上、4:75,000点以上、3:50,000点以上、2:25,000点以上、1:1点以上、0:0点	5	
地域枠医師のキャリア形成	7 連携施設になっている基本診療領域の診療科数 令和7年4月1日時点	地域枠医師への教育指導環境を把握するため	8:4診療科以上、6:3診療科、4:2診療科、2:1診療科、0:0診療科	8	20
	8 特別連携施設になっている基本診療領域の診療科数 令和7年4月1日時点	地域枠医師への教育指導環境を把握するため	2:2診療科以上、1:1診療科、0:なし	2	
	9 教育担当者(指導医)数 令和7年4月1日時点 基本診療領域の学会認定資格者又は臨床研修の指導医講習会受講者	地域枠医師への教育指導環境を把握するため	4:指導医4人以上、3:指導医3人以上、2:指導医2人以上、1:指導医1人以上、0:指導医1人未満	4	
	10 勤務日のうち、他施設で研修が可能な日数 令和7年4月1日時点	地域枠医師が自己研鑽できる環境を把握するため	4:月4日、3:月3日、2:月2日、1:月1回、0:要相談・検討中、認めていない	4	
	11 40歳未満の常勤医数 令和7年4月1日時点	地域枠医師が自己研鑽できる環境を把握するため	2:常勤医2人以上、1:常勤医1人、0:いない	2	
待遇、福利厚生、勤務環境	12 年間収入(給料・賞与と毎月必ず支給される医師手当等の合計) 令和7年4月1日時点、卒後7年目で算出	待遇を把握するため	5:1,800万円以上、4:1,600万円～1,800万円未満、3:1,400万円～1,600万円未満、2:1,200万円～1,400万円未満、1:1,000万円～1,200万円未満、0:1,000万円未満	5	15
	13 手当(通勤手当、扶養手当、住居手当)の有無 令和7年4月1日時点	待遇を把握するため	1:有、0:無	3 (各1点)	
	14 休暇制度(産前産後休暇、子の看護休暇、病気休暇)の状況 令和4年度～令和6年度実績	安心して勤務できる勤務環境かどうかを把握するため	2:医師の取得制度がある(取得実績あり、取得対象者がいなかった) 1:医師の取得制度がある(取得対象者が取得しなかった) 0:医師の取得制度がない	6 (各2点)	
	15 傷病による休職制度の状況 令和4年度～令和6年度実績	安心して勤務できる勤務環境かどうかを把握するため	2:医師の取得制度がある(取得実績あり、取得対象者がいなかった) 1:医師の取得制度がある(取得対象者が取得しなかった) 0:医師の取得制度がない	2	
	16 育児のための制度の状況 (育児休業、時間外労働の免除、時間外労働の制限、深夜業の制限、所定労働時間の短縮) 令和4年度～令和6年度実績	育児と仕事を両立し勤務できる環境かどうかを把握するため	2:医師の取得制度がある(取得実績あり、取得対象者がいなかった) 1:医師の取得制度がある(取得対象者が取得しなかった) 0:医師の取得制度がない	10 (各2点)	
	17 保育施設、病児保育施設の有無 令和7年4月1日時点	育児と仕事を両立し勤務できる環境かどうかを把握するため	2:有(院内、法人内)、1:有(近隣)、0:無	4 (各2点)	
	18 ハラスメント対策(パワハラ・セクハラ・マタハラ等)の状況 令和7年4月1日時点	職員の安全管理の状況を把握するため	1:対策有、0:対策無	1	
立地や役割	19 熊本市内からの所要時間 令和7年4月1日時点	熊本市内への通院の困難度(当該医療機関が担う役割の大きさ)を把握するため	5:140分以上、4:120分以上、3:100分以上、2:80分以上、1:60分以上、0:60分未満	5	15
	20 医療機関の役割(救急告示病院、へき地医療拠点病院、在宅療養支援病院、災害拠点病院、がん拠点病院、脳卒中拠点病院等の指定数)の指定状況 令和7年4月1日時点	病院の役割を把握するため	4:4個以上、3:3個、2:2個、1:1個、0:指定無	4	
	21 医学生 の受入数 令和6年度実績 熊本大学医学部医学科の地域医療実習の受入数	医学生への教育指導体制を把握するため	4:10人以上、3:7人～9人、2:4～6人、1:1～3人、0:受入無	4	
	22 臨床研修医 の受入数 令和6年度実績 臨床研修における地域医療研修に係る受入数	臨床研修医への教育指導体制を把握するため	3:10人以上、2:6～9人、1:1～5人、0:受入無	3	